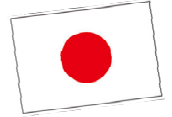


福岡日英協会主催



# Grandfather's Letters Seminar



～百年前に心温まる 1200 通の絵手紙を 4 人の孫たちに送り続けたお爺さんのお話～

時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、この度、今年 3 月にもお出でいただいた英国在住の松任谷愛介さんをお招きして、グランドファザーズ・レターについてお話を伺います。

松任谷氏は、2005 年にグランドファザーズ・レター(GFL)実行委員会(松任谷氏代表)を立ち上げ、英国の将校ヘンリー卿が植民地インドに残してきた 4 人の孫たちに送り続けた 1200 通の心温まる絵手紙コレクションを日本に紹介し、心の絆について見直す活動を進めておられ、今回ヘンリー卿の曾孫で絵手紙の受け手の子息にあたるチャールズ・グラマルディさんのビデオレターや、サザビーズから「世界最多の親族に宛てた絵手紙」として英国の文化財に認定されたレターのいくつかを紹介しながら発見の経緯やエピソード等をお話いただきます。皆様お誘い合わせの上、たくさんの方々のご参加をお待ち申し上げます。



## 講師プロフィール：松任谷愛介氏 クロスカルチャーホールディングス代表取締役

東京杉並区生まれ。1978年慶応義塾大学経済学部卒業後、横浜銀行に入社。渋谷支店、国際部、ディーリングルームで勤務。1988年シカゴ大学MBA取得。1989年より英国マーシャントバンクGuinness Mahon社に入社、同社取締役、代表取締役副会長職歴任。経営より実業が好きで、機関車トーマスやレコード会社立ち上げなど数々の映像、音楽開発に従事。1997年、Guinness Mahonにおける全ての取締役職を辞職して、ロンドンにプロデュース会社Cross Culture Holdings社を設立し、プロデューサー兼代表取締役に就任。日欧文化の架け橋となるべく、音楽・映像・イベントのプロデュースや執筆活動に従事。普遍的価値を創造するプロデューサーとなることを目指して、現在に至る。

課外では、ロンドンの金融会社数社の顧問のほか、大英博物館日本名誉会長（～04年）、GFL実行委員会会長、海の向こうからメッセージを伝える会会長等を兼務。1989年から数年、英国暁星国際大学非常勤講師。2005年より立命館大学経営学部客員教授として「プロジェクト研究」「海外インターン研修」指導（～12年3月）、2012年より同客員研究員（～14年）など。

◇ 日時:2016年11月8日(火) 18:30～20:00

◇ 会場: アクロス福岡 2階 セミナールーム2

福岡市中央区天神 1-1-1 TEL:092-725-9113



◇ 会費:会員 500円 / 非会員 1,500円(当日会場にてお支払い)

◇ 定員:50名(先着順)

◇ お申込み方法:① 出席者の氏名(法人会員は会社名も)

② 電話番号(当日連絡可能なもの)

を2枚目に記入の上 FAX、または電話・Eメールにてお願いします。

福岡日英協会事務局 The Fukuoka-Japan British Society

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-3-6 Tel:092-476-2155 Fax:092-476-2634

Email: [fjbs.event@castle.ocn.ne.jp](mailto:fjbs.event@castle.ocn.ne.jp) 担当 河部・汐田

FAX 092-476-2634

福岡日英協会 行



2016年11月8日(火)セミナー申込書  
(松任谷愛介氏の「Grandfather's Letters Seminar」)

参加者氏名: \_\_\_\_\_ 一般会員・法人会員(社名: \_\_\_\_\_)・非会員

ご同伴者氏名: \_\_\_\_\_ 一般会員・法人会員(社名: \_\_\_\_\_)・非会員

当日連絡可能なお電話番号: \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

**申込み〆切2016年10月31日(月)**

\* 頂いた個人情報は厳重に管理し、福岡日英協会の活動以外の目的には使用いたしません。